

ワタアブラムシ抵抗性を持つアールスメロン新品種



「久愛交1号」は、わが国で初めてワタアブラムシに抵抗性を持つアールスメロン品種です。

ワタアブラムシは、生育阻害やすす病の誘発、ウイルス病の媒介などを起こす主要害虫のひとつです。新品種は、その増殖を抑え、また、うどんこ病新レースやつる割病に抵抗性をもつため、

減農薬栽培が可能です。

果実は、ネットの盛りが良く、果皮が灰緑色でアールスメロン特有の上品さがあります。糖度が14度程度と高く、食感が優れています。

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構野菜茶業研究所との共同研究で育成しました。(園芸研究部)